

不祥事防止への取り組み

取手市立永山中学校

校 長 齋藤 輝行

教職員による不祥事は、児童生徒や保護者、地域の皆様のみならず、県民の教育への信頼を著しく低下させることになり、なんとしても根絶しなければなりません。そこで、本校では不祥事根絶に向けた教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

1 不祥事根絶をテーマとした校内研修を計画的に実施

○月 1 回の定期的なコンプライアンス研修を確実に実施

わいせつ、セクハラ、体罰、公金の不適切処理、飲酒運転、情報漏洩、交通事故等の各事案について、毎月、担当者によるボトムアップ式の研修やグループ討議等の手法を取り入れた研修をしています（別紙：令和6年度コンプライアンス研修 実施計画）。

○一人一人のコンプライアンス意識の向上と「自分事」として考える場の設定

研修では、具体的な防止策を考えたり、チェックリストを活用して自分自身を振り返ったりするなど、「自分事」として捉えられるよう意識の高揚を図っています。

2 管理職による通知文等を活用し、防止策を共有

○県教委や市教委からの通知文や「One IBARAKI」等を活用し、事例を全職員で共有

「コンプライアンスだより」や職員会議等で不祥事の内容と対象職員の処分等について知り、自分自身や本校の問題として、防止策を協議しています。

3 安全・安心な学校生活のための定期的な点検と校内環境整備

○定期的な安全点検や管理職による校内巡視の実施

違和感に気付き、即対応できるよう日頃の環境整備と未然防止に努めています。

4 相談しやすい温かい職場環境づくり

○管理職による個人面談の実施と同僚性の構築

個人面談でコンプライアンス意識を共有したり、悩みを一人で抱え込まないよう相談にのったりするなど教職員を支援しています。また、コミュニケーションや情報共有を大切にし、お互いが声掛けできる相談しやすい職場環境づくりに努めています。

永山中学校の職場全体で意識を高め、今後も、全職員が一丸となって不祥事根絶に向けて取り組みます。また、本校から不祥事が起きないよう、職員一人一人が教育公務員としての自覚をもって尽力していきます。